

(一社)群馬県建設業協会 環境すみずみパトロール隊と 会津 美Ladyとの意見交換会について【報告書】

～ 初めての意見交換会開催となりました ～



1.日時・参加人数

- 【期 日】 平成28年10月27日
- 【時 間】 10:30 ～ 13:30
- 【参加人数】 環境すみずみパトロール隊他・・・16名
会津 美Lady他・・・9名



2.目 的

- ・女性先輩技術者の話を聞いて自分の将来に役立てる
- ・悩みや想いを共有しヨコのつながりをつくる



女性同士の悩み
を話し合おう！

群協マスコットキャラクター「ぐんケンくん」

4.実施内容（1）

司会・・・環境すみずみパトロール隊員

①挨拶

- ・（一社）群馬県建設業協会
 - ・ Change!どぼく実行委員会
 - ・ 会津美Lady
- 以上の3名より挨拶がありました。



②自己紹介

各県名簿順で自己紹介

※氏名、所属、業務内容、ワークライフバランス、家族構成について



③活動報告

群馬県 環境すみずみパトロール隊の活動状況について説明



資料1



「会津・美Lady」との意見交換会
平成28年10月27日 群馬建設会館 3F 理事会室

4.実施内容（2）



④質疑応答

群馬県 環境すみずみパトロール隊活動内容について質疑応答



⑤昼食会

お弁当（和食）、ショートケーキ・コーヒー



とても美味しくいただきました



⑥意見交換

※内容について4～6ページ参照

⑦閉会

最後にぐんケンくんと全員で集合写真を撮り閉会となりました。



5. 意見交換（1）

👉 ワークライフバランス（現場作業での苦労など）について

- ・男女関係無いと思うが、作業する時間が長くなるため家庭との両立が難しい。＝時間の使い方が難しい
- ・困難な時に男性の同僚が電話一本で駆けつけてくれて仲間として良かったと思えた。
- ・目上の方へ指示や難しいことを伝えようとする時、女性として言葉の選び方が難しい。
- ・残業の日が続いたら、後日早く帰れるように工夫したりしてバランスをとるようにしている。
- ・仕事の時間と自分の時間のメリハリをきちんと区別するようにしている。
- ・夜中に緊急の呼び出しがあること

👉 家庭と仕事の両立について

- ・子供がいるため、単発的な現場や救急を要する維持工事の現場管理などをさせてもらっている。子育てが一段落すればまた本格的に現場復帰をしたいと思っている。
 - ・子供が小さい頃は四苦八苦しなながら子育てをし、子供が大きくなったら習い事の送迎もあり家庭との両立が大変だった。
- ⇒ 仕事を続けるには両親や家族の協力・会社の理解が必要

👉 今後の人生設計において不安に思うこと

- ・資格はあるがCAD等の技量が足りないと思うので今後レベルアップするためにはどうしたらいいか悩んでいる。

👉 建設業界で働く上で工夫していること

- ・現場管理をしていながらも自分から気づいたことは行動するように心がけている。
- ・休憩時には職人さん達とお茶を飲んだりして積極的にコミュニケーションをとるようにしている。

5. 意見交換（2）



男性の優しさについて

- ・重いものを運ぶと時は手伝ってくれる。
- ・遠い現場は男性に対応をしてもらう。
- ・子育てが大変な時に声を掛けてくれる。



自社で働き続けられる理由・働きやすいと思うところ

- ・最近では、会社に相談をすれば理解をしてくれて早めの退社ができたり、そのような雰囲気になってきた。
- ・職場の女性同士、協力できて仕事をしているので、結婚して子供を産んでも産休・育休をとって戻ってくれる人がほとんど。
- ・職場の方が、自分のことを特別扱いというわけではないが少しそのような目で見えてくれて、現在20年以上勤務できている。
- ・仲間、男性の方でも相談すれば乗ってくれる。
- ・女性の話し合いで出た「現場での水洗トイレ設置」について会社に話したらすぐに現場に水洗トイレを設置してもらえた。
- ・男性が優しい。



世間で女性技術者と言われて約3年経つが、周囲で変化したこと

- ・女性活躍推進の活動が盛んなおかげで、男性の目線が優しくなってきた。
- ・昔より休みを取りやすくなったり、時間の融通を聞いてもらえるようになった。
- ・入社した頃は、男性と女性の間でお互い気を使っている部分はあったが、最近はお互いを受け入れられるようになり、同じ現場で働くというのが普通になった。

5. 意見交換 (3)



若手入職者促進について

- ・現場監督をやりたくないという意見が多数ある。
 - ⇒理由は、設計や測量士に比べて給料が安く、労働時間が長い。
 - ⇒対策としては、週休二日制にすれば働く女性も増えると思う。
- ・群馬県の取組の中では、小さいころから建設業に親しみを持ってもらうために、「ぐんケンくん」というキャラクターを作成し、着ぐるみを着てイベント等に参加させてもらっている。

6. その他意見

- ・建設業において、女性を特別扱いするというのも実際どうなのかなと思う。例えば、仮設トイレを洋式にしたり水洗にしたりなどは、会社の大きさによって実現するかしないかは変わると思う。
- ・地方の建設業で女性専用のトイレを設けることができるかどうかは難しいと実感している。全建で取り組んでいる更衣室については、大手ゼネコンなどでは必要なのかもしれないが地方の建設業で必ずしも必要とするのかと感じる。しかし、そこを否定してしまうと、これから女性が入社してくるといいう時に何も進まなくなってしまうので、そこは声をあげるべきだと思う。
- ・トイレの問題について、実現する・しないに関係無く、女性が働きやすい職場にするためには言い続けなくてはならないことだと思う。

7. まとめ

- ・トイレや更衣室、喫煙所などお金をかけてすることは地方の建設業で取り組むのは難しい部分もある。そこで環境すみずみパトロール隊は、共用のトイレだけれども男性も女性も気持ち良く使えるようにマナーをきちんとすることで気持ち良く仕事をしましょうという目的でお金をかけずに取り組むので実施しやすい。
- ・長く働き続けるには、女性という理由で甘えるわけではないが、周りの上司や同僚・職人さんとコミュニケーションをとることが大事。その積み重ねが長く続けられるコツだと考える。

8.最後に...

この度は、群馬県建設業協会をはじめ環境すみずみパトロール隊・各関係者の皆様には、素晴らしい場を設けていただき改めて感謝申し上げます。會津美Ladyにとりましては、初めての意見交換会となり皆様と意見や悩みを共有し有意義な時間を過ごせたことを大変うれしく思います。

今回学んだことを今後の生活・仕事へ生かし、女性技術者の増加・建設業の発展に貢献できていければと考えております。機会がございましたら、皆様と再び交流できることを願っております。本当にありがとうございました！

環境すみずみパトロール隊



會津美Lady